



矢作川流域圏懇談会のゆるキャラ
「はぎぼう」

第18回 市民部会WG

第14期の活動成果と今後の活動計画



次 第

1. 今期の活動実績
2. 市民部会の活動目標
3. 今後の活動内容
4. 市民部会の活動スケジュール

1. 今期の活動実績（R5.4.1～R6.3.31）

<①公開講座の実施>

○流域全体に関わる課題（テーマ）について、これまでの実施状況を下記に示す。

	時期	テーマ	実施状況
これまで	令和3年7月	マイクロプラスチック	市民部会企画で公開講座を開催 「プラスチックが生き物を苦しめている」
	令和3年11月	ネオニコチノイド系農薬	市民部会企画で公開講座を開催 「アカトンボが危ない！」
	令和4年8月	「三河湾の水産資源」「栄養循環・物質循環」	市民部会提案→海部会企画で公開講座を開催 「豊かな海の栄養源～きれいな海は豊かな海か？～」
	令和5年1月	「47災害から50年」	市民部会提案→山部会企画で情報共有を実施
今期	令和6年2月	流域のつながり	市民部会企画で公開講座を開催 「川がつなぐ 私たちの未来 ～知らなかった山・川・里・海の繋がり～」

○令和6年2月に「流域」の概念を市民に伝えることが市民部会が開催する公開講座の役割として重要であるという議論から、俯瞰的に捉えた流域の解説を公開講座で行った。内容を下記に示す。

「川がつなぐ 私たちの未来 ～知らなかった山・川・里・海の繋がり～」
Ⅰ．基調講演Ⅰ 富山理論から「健全な流域圏」を考える
（講師：松沢孝晋氏）
Ⅱ．基調講演Ⅱ「流域思考」をわかりやすくつたえていくために
（講師：神田浩史氏）
Ⅲ．ディスカッション（誰でも参加可能な車座形式での議論の場を用意）

1. 今期の活動実績 (R5.4.1~R6.3.31)

<②地域部会合同でのバスツアー>

- 地域部会間の共通認識の隔たりを補完することを目的として、他部会に紹介したい矢作川流域の団体や場所を巡るバスツアーを開催した。
- 9/13,14 の2日間で延べ32人が参加した。
- アンケートの回答者全員が「所属外の部会で中心命題としている矢作川流域の課題を『知ることができた』もしくは『少し知ることができた』」と回答した。

【アンケートの内容を一部紹介】

- 山、川、海それぞれに課題があり、全体の協力が必要だと感じた。
- 他部会員との議論が良かった。
- バス移動中の各座長から解説や見解、現地での質疑応答は課題を知る・考える糸口となった。
- ツアーで感じたこと、考えたことについて、意見交換の場が欲しい。



バスツアー訪問先位置図



東幡豆海岸にて

1. 今期の活動実績（R5.4.1～R6.3.31）

＜③新たなつながりを広げる＞

- オーガニック給食の推進に関する取り組みを実施しているFood for Children愛知 Food for Children安城の関係者へ取材を行った。
- バスツアーには、大学生2名（愛知工業大学、三重大学）が参加した。
- 流域連携イベントとして、下記3つのイベントに参加した。

イベント	日時	場所
2023年矢作川感謝祭	9月10日（日）	千石公園（豊田大橋下）
第25回“いい川”・“いい川づくり”ワークショップ in東北	9月29日（金）	エクスカージョン：四ツ谷用水（仙台市 広瀬川）
	9月30日（土）	公開選考会：東北大学
	10月1日（日）	青葉山キャンパス
第10回三河湾大感謝祭	10月14日（土）	LaLaGran（三河田原駅）



矢作川感謝祭の様子



いい川づくりWS
エクスカージョンの様子



いい川づくりWS
公開選考会の様子



三河湾大感謝祭の様子

2. 市民部会の活動目標

第14期前半（R5.4.1～R6.3.31）の活動目標

- ①流域全体に関わる課題をテーマとして設定し、公開講座を実施する。
- ②地域部会（山・川・海）合同でのバスツアーを企画・開催する。
- ③農業従事者や大学関係者など、新たなつながりを広げる。

今後の市民部会の課題・役割

- 矢作川の望ましい姿のイメージの可視化・具体的行動
- 市民部会としての流域連携テーマの議論
- 地域部会の話題・課題を把握できるシステムの構築
- 10年間で新たに見えてきた課題や問題の明確化
- 懇談会とつながりの薄い農業や工業の団体との関係構築

山・川・海の恵みにつながる矢作川をつくる
～今新たに！「流域はひとつ」生命共同体～

矢作川の恵み・大切さを再認識し、より良い矢作川流域圏の再構築を目指し、平成30年度のWGで作成しました。

3. 今後の活動内容

<14期後半（R6.4～R6.11） 市民部会の活動内容・目標>

テーマ	具体的な活動内容・目標
公開講座	<ul style="list-style-type: none">○ 講座の内容や実施の有無を含めてWGで決定していく。海部会から土砂資源の認識を公開講座として発信していきたいという意見があった。他にも上下水の市民化学、マイクロプラスチック第2弾、ネオニコチノイド系農薬第2弾が候補として挙げられている。
バスツアー	<ul style="list-style-type: none">○ 第14期に2日間かけて多数の現地視察を行った。各部会で見ておくべき現場があるかどうかを把握した上で実施の有無も含めて検討する。
新たなつながり	<ul style="list-style-type: none">○ 他流域との連携（11月に予定している第61回多摩川流域セミナーにおいて合同セミナーを開催）。○ 大学関係者との新たな繋がりをバスツアーや流域連携イベントを通して広げる。○ 流域内の産業分野（林業・農業・水産業等）との新たな繋がりを広げることを目的として勉強会等を実施する。○ 他部会との交流の増加を目的とした合同WG等の開催。

4. 市民部会の活動スケジュール

市民部会の活動として、当面全体会議までのWG2回、まとめの会 1回、流域連携イベント3回を予定している。

	活動	日時	内容・場所
第14期	第18回WG	5月20日（月）	内容：座長交代に伴うご挨拶 昨期の活動成果と今期の活動計画 場所：豊田市職員会館2階 第1会議室
	第19回WG	未定（7月）	内容：未定
	いい川・いい川づくり ワークショップ	未定（9月）	内容：未定
	矢作川感謝祭	未定（9月）	内容：未定
	三河湾大感謝祭	10月6日（日）	場所：西浦温泉パームビーチ （蒲郡市西浦町塩柄） 内容：未定
	第6回市民部会 まとめの会	未定（10月）	内容：未定